市長定例記者会見資料

令和６年１月２９日	
所　属	都市政策課
所属長	曽田　研之介
電　話	06－6489－6138

尼崎市の人口動態、1,765 人の転入超過！ファミリー世帯の転出超過も大幅改善！

令和５年中の人口動態については、住民基本台帳に基づき集計した結果、本市の社会動態は 1,765 人の転入超過となりました。さらに、本市の最重要課題であるファミリー世帯の転出超過数は 180 世帯となり、前年より大幅に改善しました。

１　令和５年中の人口動態

本市全体の人口でみると、自然動態は、出生が 3,322 人、死亡が 5,936 人で 2,614 人の減少となりました。一方、社会動態は、転入が 19,555 人、転出が 17,790 人で 1,765 人の増加となりました。社会動態の増加数は、社会動態が一旦減少に転じた昭和 44 年以降で、最も高い数字となっています。

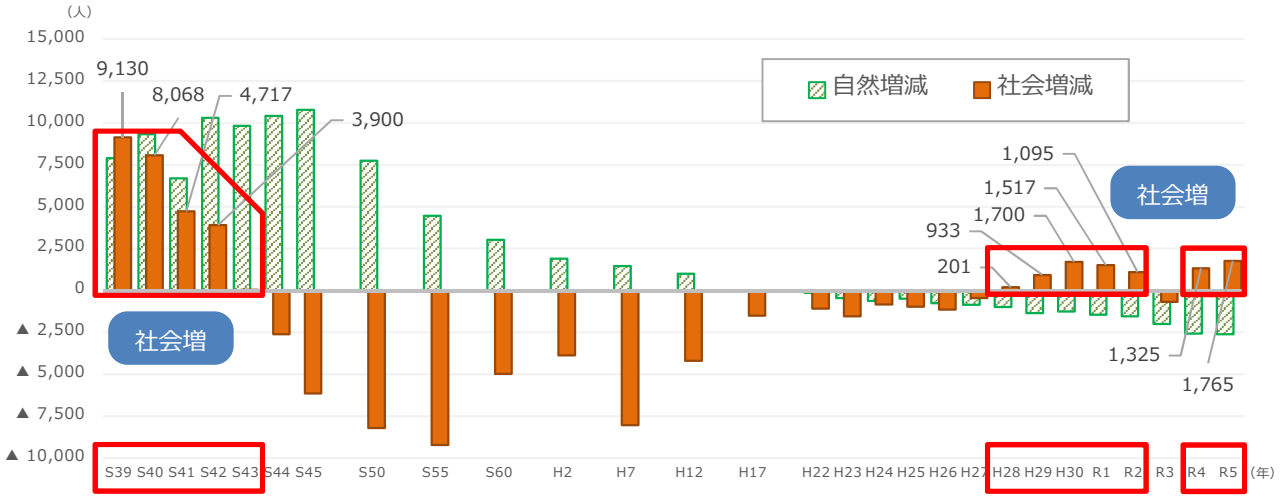
さらに、本市では、まちの大きな課題として位置付けているファミリー世帯の転出超過傾向の解消に向けて、子ども・子育て支援の充実やイメージの向上に向けて総合的に取組を推進しているところですが、令和５年のファミリー世帯の社会動態は、転入が 606 世帯、転出が 786 世帯で 180 世帯の転出超過となり、前年の 317 世帯から大幅に改善（43.2%の減）しました。

２　本市の近年の人口動態（平成 26 年～令和５年）

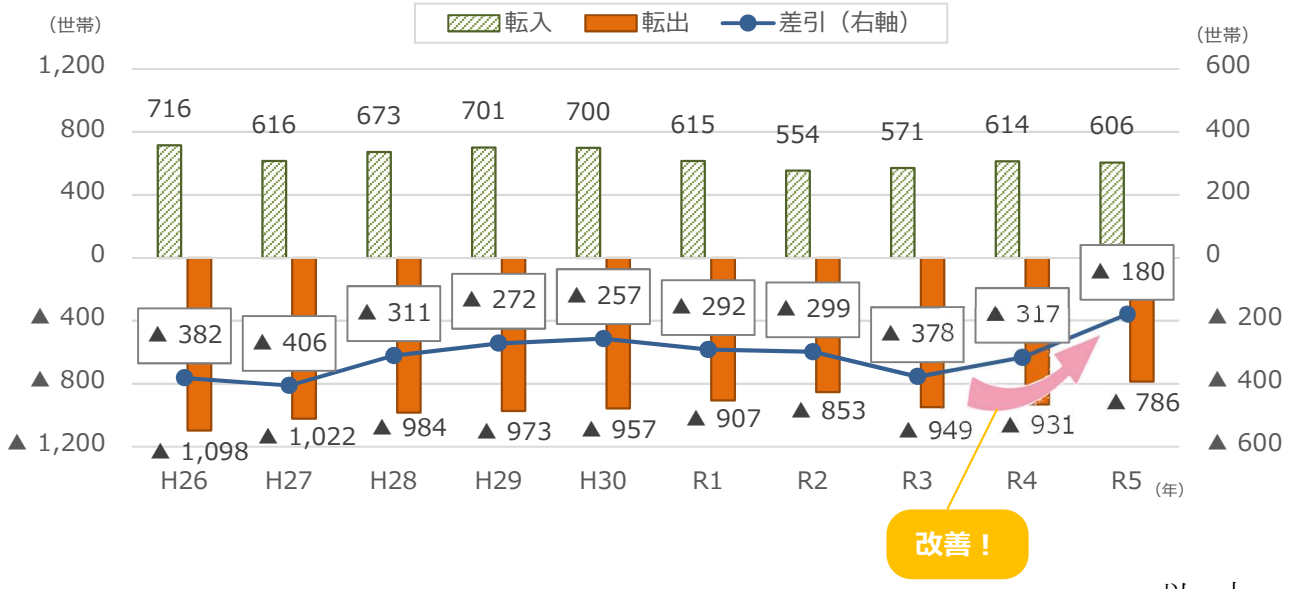
（単位：人）

	出生	死亡	自然動態	転入	転出	社会動態	合計
平成26年	3,927	4,678	▲ 751	18,268	19,406	▲ 1,138	▲ 1,889
平成27年	3,995	4,850	▲ 855	18,342	18,783	▲ 441	▲ 1,296
平成28年	3,826	4,807	▲ 981	18,382	18,181	201	▲ 780
平成29年	3,796	5,145	▲ 1,349	19,533	18,600	933	▲ 416
平成30年	3,792	5,050	▲ 1,258	19,364	17,664	1,700	442
令和元年	3,718	5,159	▲ 1,441	19,203	17,686	1,517	76
令和 2年	3,745	5,282	▲ 1,537	18,496	17,401	1,095	▲ 442
令和 3年	3,632	5,625	▲ 1,993	17,397	18,076	▲ 679	▲ 2,672
令和 4年	3,367	5,945	▲ 2,578	19,645	18,320	1,325	▲ 1,253
令和 5年	3,322	5,936	▲ 2,614	19,555	17,790	1,765	▲ 849

３　本市の人口動態の推移



4　ファミリー世帯の社会動態の推移



以　上